

記者発表資料	
令和8年2月13日	
担当課 (担当)	交通政策課 森本・井上
電話	30-8326 (内線 7621)

自動運転バス実証運行の結果（速報）について

令和7年12月に実施した自動運転バス実証運行について、自動運転率が算出されましたので、試乗体験の結果等と併せてお知らせします。（最終的な事業報告書は3月下旬に公表予定です。）

1 技術面の検証結果について

●自動運転率※95.9% (R6: 95.3%、R5: 80.2%)

※試乗ルートにおいて走行した総距離のうち、運転手が手動介入せずに自動運転で走行できた距離の割合

《自動運転率向上の主な理由》

- ①自動運転システムの改善により、路上駐車回避性能が向上したため
- ②交通量の多い交差点での右折を避けたルートに変更したため

《手動介入した主な理由》

- ①停留所付近で駐車されていた一般車両の回避
- ②交差点の右折時、交差点に取り残された際の出発 ほか

2 試乗体験の結果について

- ①運行期間 6日間 (R6: 10日間、R5: 11日間)
【12/12~17】
- ②運行便数 42便 (R6: 58便、R5: 80便)
- ③試乗者数 412人 (9.8人/便) (R6: 519人 (8.9人/便)、
R5: 701人 (8.8人/便))

3 今後の取組みについて

事業報告書の結果をふまえ、鳥取市次世代モビリティ推進会議において、今後の取組み方針を協議します。

引き続き、国の動向（※政府目標）や、他自治体での取組み状況をふまえ、バス事業者をはじめとする関係者と生活交通の維持に向けた検討を進めていきます。

※政府目標…令和9年度までに無人自動運転移動サービスを100か所以上で実現する